

“ヨッテク” 見学 (2012/7/27) の報告

7月27日、「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド(愛称：ヨッテク)2012」(※)を見学しましたので報告させていただきます。

※ 福祉を支える人とテクノロジーの総合展

(主催：社会福祉法人 横浜市
リハビリテーション事業団、
会場：パシフィコ横浜 展示ホールD)



東京ビッグサイトで毎年開催される国際福祉機器展(HCR)が大規模な福祉機器主体の展示会であるのに対し、「ヨッテク」は小規模ではあるが遊びの場とか試用体験も多く人間参加型の展示会で、人と人とのつながりを感じさせる工夫、楽しむ工夫がされているようです。

なお、昨年、FJC協会主催(「たまりば」企画)の「横リハ見学会」を開催させていただきましたが、そのとき担当された部長の飯島氏がおられたので挨拶をしました(ヨッテクの主催者側としてデモンストレーションの案内をされていた)。

以下、展示の一部を紹介致します。

<立位トレーニングイメージ>



リハビリナビゲーションシステム “デジタルミラー”

私は体調管理を目的として自宅近くに最近オープンしたフィットネスクラブに通い始めました。障害者、高齢者のトレーニングは…？ 大きな映像のお手本を見ながらリハビリ、トレーニングし、測定結果を記録する「デジタルミラー」という製品が目につきました。施設向けに開発されたようで横リハにもあるそうです。



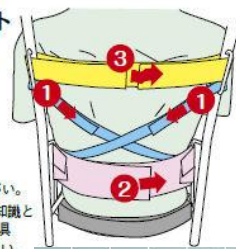


●3ステップの簡単 バックサポート調整●

- ① 下部胸郭支持ベルト
- ② ヒップ支持ベルト
- ③ 胸郭支持ベルト

3つのベルトは簡単な手順で調整できます。

※調整時には取扱説明書を参照ください。
 ※ベルトの設定につきましては、専門知識と技術を持った医師、療法士、福祉用具専門相談員、販売店にご相談ください。



調整された、3Dバックサポート。
 体のかたちはっきりと見えます。
 左右対称姿勢、非対称姿勢の
 どちらにもしっかりと対応。

車いす「座王」

FJC 実践塾では、福井先生から車いすのシーティングについて詳しく講義を受けました。そのような座り心地をうたい文句にした車いす「座王」のデモを見学しました。

背もたれに“曲線”（背中形状に合わせた3D形状調整）を取り入れていることに特徴があるようです。

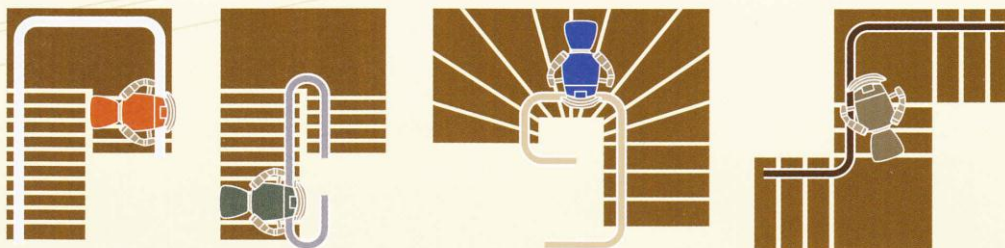
階段昇降機「やどかりくん」

親戚の高齢者(女性)が転んで腕と大腿骨を骨折してしまいました！！ 自宅の1, 2階の昇降をどうするのだろうと考えながら階段昇降機「やどかりくん」のデモを見学しました。狭く曲がっている急階段にも設置可能で費用は120万円とのこと(直線だけの構成だと半額近くになるようです)。



●狭いところでも無理なく乗り降り

独自の技術、「自動回転方式」を採用することにより、昇降中の椅子本体が回転可能に。自動で回転しながら昇降するので狭い階段幅でも膝やつま先が壁に当たることなくご利用できます。





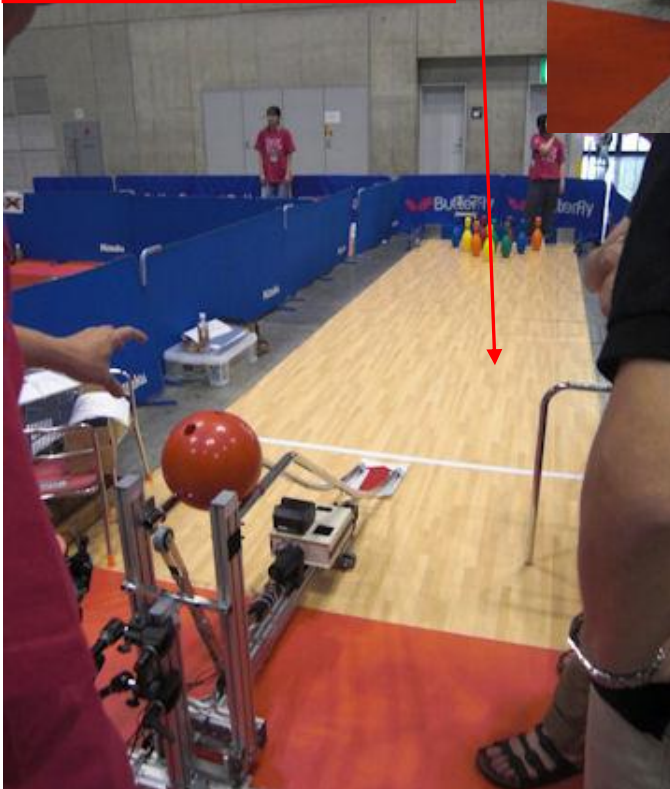
介護リフト「つるべー」

介護リフト「つるべー」のデモ。ベッド脇に置いててもコンパクトでよいと思いました。



ボウリング投球補助具

横リハに併設されている障害者のスポーツ文化センター「横浜ラポール」には視覚障害の方も利用されているボウリング場があります。横リハでは投球補助用具を開発しています。



電動スロープ

横浜市総合リハビリテーションセンターと横浜ラポールでは、上肢にマヒがある方たちでも、ボウリングを主体的に楽しめるように、投球補助用具を開発しました。

- スイッチの操作で、コースを選び、ボールを転がします
- 横浜ラポールのボウリング場に設置準備中です

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2012



横浜の住生活モデル事業
 月出さんが関係している「横浜の住生活モデル事業」。横浜市のバリアフリー改修工事の補助金は工事費の1/2 かつ上限200万円。

車いすの収納
 車いすの方が自動車を運転するとき、車いすを自動車にどのように納めるかが問題となります。福井先生のようにご自分で収納できればよいのですが…。その解決策の一つとしてルーフ上のウェルキャリーのデモを見ました。



折りたたんだ車いすが取り付けられ、ルーフ上のウェルキャリーに自動で収納される。

以上 多賀